

小規模企業景気動向調査

[平成16年10月期調査]

製造業を中心に悪化懸念が残る小規模景況

平成16年11月11日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:平成16年10月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

10月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス14.8(前月比プラス2.1ポイント)、採算がマイナス21.2(同プラス0.2ポイント)、資金繰りがマイナス17.6(同プラス3.2ポイント)、業況がマイナス22.2(同プラス1.0ポイント)となり、全ての項目で改善した。製造業は原油価格高騰等により厳しい状況が続いている。建設業は災害復旧工事が多いという回答が多く、前月に引き続き改善傾向が見られた。小売業は天候不良による野菜等の価格高騰が採算面に悪影響をもたらし、サービス業でも台風による影響が見られた。今月期は、産業全体では若干の改善となったが、業種によってばらつきが見られる調査結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がプラス0.8(前月比マイナス0.6ポイント)、採算がマイナス13.6(同マイナス5.9ポイント)、資金繰りがマイナス10.0(同マイナス2.6ポイント)、業況がマイナス10.4(同マイナス3.5ポイント)となった。自動車部品製造業を中心に受注量は回復しているとの回答が見られたものの、引き続き原油価格や原材料の高騰の影響が大きく採算が取れないとの回答が多く、全ての項目で悪化した。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス23.9(前月比プラス3.4ポイント)、採算がマイナス30.8(同プラス7.4ポイント)、資金繰りがマイナス26.5(同プラス13.4ポイント)、業況がマイナス34.1(同プラス6.4ポイント)となり、全ての項目で改善した。公共工事も民間工事も受注減少の状況が続いており厳しいという回答が多いものの、地域によっては大型台風による災害復旧工事や市町村合併に伴う公共事業の駆け込み受注が活発に行われているとの回答が見られ、資金繰りを中心に大幅な改善につながった。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス18.4(前月比プラス3.6ポイント)、採算がマイナス25.0(同マイナス1.2ポイント)、資金繰りがマイナス20.6(同プラス0.4ポイント)、業況がマイナス27.1(同マイナス1.9ポイント)となった。フランチャイズ店やコンビニ進出の影響が大きい上、天候不良により野菜等が高騰したことに伴う消費者の買い控え行動が見られたとの回答が多く、採算・業況の項目で悪化した。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス17.5(前月比プラス2.2ポイント)、採算がマイナス15.4(同プラス0.4ポイント)、資金繰りがマイナス13.0(同プラス1.9ポイント)、業況がマイナス17.0(同プラス3.3ポイント)となった。旅館業では台風によるキャンセルが相次ぎ、飲食業では野菜高騰の影響が大きいという回答が見られたものの、全体としてみれば横這い又はやや好転との回答が多く、全ての項目で改善した。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	16.9	14.8	2.1	1.4	0.8	0.6	27.3	23.9	3.4
採算	21.4	21.2	0.2	7.7	13.6	5.9	38.2	30.8	7.4
資金繰り	20.8	17.6	3.2	7.4	10.0	2.6	39.9	26.5	13.4
業況	23.2	22.2	1.0	6.9	10.4	3.5	40.5	34.1	6.4

業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	22.0	18.4	3.6	19.7	17.5	2.2
採算	23.8	25.0	1.2	15.8	15.4	0.4
資金繰り	21.0	20.6	0.4	14.9	13.0	1.9
業況	25.2	27.1	1.9	20.3	17.0	3.3

注)D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先:振興部 振興課 渡部 TEL:03-3503-1256(直通)
E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp